

日本一の漁網会社を目指して、1910年に創業、1919年に株式会社に改組され、国内の漁業の発展に貢献してまいりました。その後、漁網以外にも様々な商品を取り扱うようになり、1972年に商号を変更、現在の水産専門商社「ニチモウ株式会社」が誕生しました。

何をしている会社？



食品事業・海洋事業・機械事業・資材事業・バイオティックス事業・物流事業の6つの事業で浜から食卓までを網羅し繋いでいます。

未来につながる持続可能な社会を創るために

ニチモウでは、持続可能な社会の実現に向けて各事業に付随したCSR活動に取り組んでおります。

食品事業

海洋環境に配慮した、持続的で安全な食の提供

水産資源と生態系の保全・トレーサビリティを確立するため、MEL認証を取得し、未来に繋がるサービスを提供します。

海洋事業

環境負荷を軽減する製品の導入とリサイクルチェーンの実現

生分解性プラスチックを用いた海洋資材の開発、廃棄漁網のリサイクルに取り組み、海洋環境問題の解決に貢献します。

機械事業

誰もが働きやすく、安全で効率的な生産・管理体制の実現

最適な食品製造機械・ラインをご提案し、コスト削減や生産効率の向上と安心安全な労働環境の実現に貢献していきます。

資材事業

衛生的な生活環境の構築

衛生資材と抗菌・抗ウイルスフィルムの提供により、安心で快適な社会生活の構築を実現します。

数字で見るニチモウ

創立

1919年
100年以上

日本一の漁網会社を目指して、1919年8月17日に設立しました。100年を超える歴史の中で時代の変化に対応しながら事業を展開し、現在のニチモウが形成されました。

経営利益

5年連続
20億円以上

安定的な収益構造を確立し、2023年3月期のニチモウグループの経常利益は32億円です。

連結売上高

1,268億円

6つの事業を展開する2023年3月期のニチモウグループの連結売上高は1,268億円です。

取引国数

世界38の国と地域

世界38の国や地域と取引を行うグローバルな企業です。国・地域のニーズや特色に合わせたご提案を行います。

事業の歴史

養殖事業に携わり40年以上

1980年銀鮭養殖から始まり、今日では種苗・餌料・養殖資材の販売から、情報提供・養殖魚介類の買い付け・加工販売に至るまで、トータルにサポートした事業を展開しております。

一人当たりの売り上げ平均

3億円以上

従業員数は約200人と、決して多いとは言えない数字ですが、その人数で年間600億円以上を売り上げている「少数精鋭」の集団です。

ニチモウの事業の特長

<h3>食品事業</h3> <p>年間カニ取り扱い量</p> <p>4,000t以上</p> <p>お客様のニーズに合わせて、世界の漁場から買い付けを行い、高品質な製品を提供しております。</p>	<h3>海洋事業</h3> <p>実験用曳船水槽</p> <p>世界最大級の長さ100m</p> <p>独自の設備を兼ね備え、日々研究開発に励み、高い基準を満たすことで世界的に高い評価を受けています。</p>	<h3>機械事業</h3> <p>1秒間に製造されるシュウマイの個数</p> <p>2,000個以上</p> <p>これまで導入したシュウマイ製造機、約750台を使うと1秒間に2,000個も製造することができます。</p>	<h3>資材事業</h3> <p>年間各種フィルム取り扱い量</p> <p>地球1周半以上</p> <p>※地球1周を40,000kmとしたとき</p> <p>食品包装資材から建材まで、お客様の用途に合わせて幅広く取り扱っています。</p>
---	---	--	---



これまでの100年と、これからの100年に向けて

2019年8月17日に当社は創立100周年を迎えました。当社はこれまで様々な危機に直面する中で、時代とともに事業を編成し、挑戦と継続を繰り返してきました。さらなる100年を目指すために、ニチモウはこれまで同様、時代の変化を受け入れ、新しい事業を生み出し、次の世代に引き継いでいきます。

